

授業科目	＊社会保障Ⅱ						実務家教員担当科目	－			
単位	2	履修	必修	開講年次	2		開講時期	後期			
担当教員	木村 茂喜										
授業概要	<p>社会保障は「国民の生活の安定が損なわれた場合に、国民にすこやかで安心できる生活を保障することを目的として、公的責任で生活を支える給付を行うもの」（社会保障将来像委員会第一次報告(1993(平成5)年))である。社会保障は人々の生活にとって不可欠であることはいうまでもないが、今後ますます少子高齢化が進む中で、社会保障はいま大きな変革の時を迎えている。</p> <p>本講では、福祉専門職を志す学生にとって適切な相談援助を行うためには欠かせない知識である、年金保険・労働保険制度を中心とした社会保障制度の基本的な内容、社会保障制度の行財政、社会保障制度が抱えている課題について学習する。</p>										
授業形態	対面授業				授業方法	学生の講義内容の理解度を確認するため、講義中および講義終了時に Google Form を使った確認テストを実施する。					
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ul style="list-style-type: none">・年金保険・労働保険制度の適用関係、給付の支給要件、給付の内容、費用負担について理解し、他者に対して説明することができる。(DP1-2)・社会保険制度の歴史や諸外国の社会保障制度について理解し、他者に対して説明することができる(DP1-1, 1-2)・社会保障の行財政について理解し、他者に対して説明することができる。(DP1-1, 1-2)・少子高齢化をはじめとする、現代社会における社会保障制度の課題を認識することができる。(DP2-1, 2-3)										
理想的レベル	<ul style="list-style-type: none">・年金保険・労働保険制度の適用関係、給付の支給要件、給付の内容、費用負担について正しく理解し、他者に対して正確に説明することができる。(DP1-2)・社会保険制度の歴史や諸外国の社会保障制度について正しく理解し、他者に対して正確に説明することができる(DP1-1, 1-2)・社会保障の行財政について正しく理解し、他者に対して正確に説明することができる。(DP1-1, 1-2)・少子高齢化をはじめとする、現代社会における社会保障制度の課題を認識し、その課題について考察することができる。(DP2-1, 2-3)										
評価方法・評価割合											
評価方法				評価割合（数値）				備考			
試験				50%							
小テスト				30%							
レポート				0							
発表（口頭、プレゼンテーション）				0							
レポート外の提出物				0							
その他				20%				各講義終了後、学生より提出されたコメントの記述内容に基づき評価する。			
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	－	DP3	○	DP4	－	DP5	－	ナンバリング	WE21215J
学習課題（予習・復習）										1回の目安時間（時間）	

予習：テキスト該当部分に目を通す 復習：テキスト該当部分・レジュメの見直し		4
授業計画		
第1回	テーマ：イントロダクション、年金保険(1)年金制度の意義、年金保険の体系 講義の進め方、年金制度の意義、年金保険の体系について解説する。	
第2回	テーマ：年金保険(2)被保険者、保険料 年金保険の保険者・被保険者関係、年金保険料について解説する。	
第3回	テーマ：年金保険(3)老齢給付 老齢基礎年金の支給要件・支給額、老齢厚生年金の支給要件、離婚時の年金分割について解説する。	
第4回	テーマ：年金保険(4)在職老齢年金、給付水準、財政方式 在職老齢年金、年金の給付水準の決定方式、年金の財政方式について解説する。	
第5回	テーマ：年金保険(5)障害給付、遺族給付 障害基礎年金・障害厚生年金、遺族基礎年金・遺族厚生年金について解説する。	
第6回	テーマ：年金保険(6)併給調整、任意加入の年金制度 国民年金独自の給付、併給調整、企業年金などの任意加入の年金制度について解説する。	
第7回	テーマ：雇用保険(1)適用対象、支給手続、基本手当 雇用保険制度の目的、雇用保険の保険者、雇用保険の被保険者要件、支給手続、基本手当ての支給要件・支給額・給付日数について解説する。	
第8回	テーマ：雇用保険(2)保険給付 基本手当を除く雇用保険の保険給付の支給要件・支給額・支給期間について解説する。	
第9回	テーマ：雇用保険(3)雇用保険二事業、財源、求職者支援制度 労災保険(1)適用対象 雇用保険二事業、雇用保険の保険料などの財源構成、求職者支援制度、労災保険制度の目的、保険関係・適用対象について解説する。	
第10回	テーマ：労災保険(2)労災認定 業務災害・通勤災害の認定要件について解説する。	
第11回	テーマ：労災保険(3)保険給付 労災保険の保険給付の支給要件、支給額、支給期間、社会復帰促進等事業について解説する。	
第12回	テーマ：社会保障の歴史 欧米および日本における社会保障制度の発展の歴史について解説する。	
第13回	テーマ：海外の社会保障制度 欧米諸国（スウェーデン・独・仏・英・米）の社会保障制度の概要について解説する。	
第14回	テーマ：社会保障の行財政 社会保障の運営に関わる行政機関・公法人、社会保障の財源、社会保障費用統計（社会支出・社会保障給付費）、社会保障関係費、社会保障と地方財政、国民負担率について解説する。	
第15回	テーマ：社会保障の課題 少子高齢化、就業構造の変化、国際化など、日本の社会保障制度が抱える課題について解説する。	
テキスト	棕野美智子・田中耕太郎著 『はじめての社会保障(第22版)』（有斐閣） 加えて、毎回の講義開始前に、レジュメを配布する。	

参考図書・ 教材／デー タベース・ 雑誌等の紹 介	適宜、講義を理解する上で参考となる諸文献を挙げる。
課題に対す るフィード バックの方 法	<p>確認テストは提出後すぐに解答と解説が返却される。</p> <p>コメントカードに書かれた質問、意見については、次回の講義の冒頭で回答や補足説明を行う。</p> <p>定期試験終了後、解答例を Classroom に掲示する。</p>
学生へのメ ッセージ・ コメント	<p>社会保障Ⅰ（2 年前期・必修）で学習した内容については、確実に理解しておくこと。</p> <p>社会保障制度は、個人、家族、企業、行政など、社会におけるあらゆる主体が関係する。それゆえ、講義内容を理解するためには、社会全体との関わりの中で、常に社会保障制度に対する関心を持ち、講義に積極的に取り組むことが必要である。また、社会保障については、制度改正の頻度が高いので、新聞・テレビ等で報道される最新の諸情報を入手しておくことが望ましい。</p>

